

老舗ビジネス誌「経済界」の佐藤有美社長の不正がバレ法廷に！

昭和 39 年に故佐藤正忠氏により起業、創刊されたビジネス「経済界」が現社長である佐藤有美氏が、前オーナーの保有していた株式を搾取していたことが判明してから早 2 年半。

正忠氏の妻美恵子氏と長男である勇太氏が原告となり有美氏への株式移動は無効であるとする訴訟が大詰めを迎えている。

訴訟までの経緯を説明すると以下ようになる。佐藤正忠氏が亡くなったのは 2013 年のこと、翌年、遺族間では相続の話合いがもたれた。そこで判明したのが 2007 年に株式会社経済界の株式が有美氏名義に移動していたということ。さらには正忠氏の残した 1 億数千万円の金融資産も同時に着服していたという事実だという。

前記、株式の移動では、巧妙に仕組まれた罠に正忠氏の妻美恵子氏がまんまと引っかかってしまったようだ。そこで妻美恵子氏と長男勇太氏は株式の不正移動の無効を求め有美氏を提訴していた。

2 年以上に及ぶ準備書面、証拠の提出等のやりとりも 6 月に完了。7 月 19 日午後 14 時に東京地裁で証人尋問が実施されることとなった。

これまで話し合いへの出席を一切拒否してきた有美氏が、どのような弁明をするのか注目される。

3 3 5 0 0 1 3



戸田市喜沢一―二八―四三

敬天新聞社 編集部
編集長

様

経済界を憂うOB会